別紙３

川崎競馬場グッズの制作

１　概要

開催毎にファンに配布する川崎競馬場グッズを作成する。

２　制作するグッズ

通常の川崎競馬開催時に配布するグッズ（８回/各回100個程度）
ダートグレード時に配布するグッズ（５回/各回50個程度）
佐々木竹見カップ開催時に配布するグッズ（１回/1,000個程度）
年間を通じて配布するグッズ（１回/18種/各種100個程度）

３　グッズについて

納期はそれぞれの開催初日の２営業日前までとすること。

グッズは既製品とせず、また単に川崎競馬ロゴや川崎競馬マスコットキャラクターをワンポイントでデザインするという安易な発想ではなく、競馬ファンに訴求するものやその時の時流に乗ったグッズを制作すること。

年間を通じて配布するグッズは、騎手服をデザインに活用したものにすること。
（昨年度実績:騎手服マスク）

通常の川崎競馬開催時に配布するグッズ（８回）のうち、最低２回は障害福祉サービス事業所と連携して制作すること。

ダートグレード時のグッズは、通常時に比してより競馬ファン向けのグッズとすること。

また、それぞれのダートグレード時のレースの特長を理解したうえで、それに沿ったグッズを提案すること。

【参考 2020年度実績　レプリカ馬券、過去の勝ち馬ミニゼッケン】

佐々木竹見カップのグッズは、以下の要素を盛り込むこと。

- 佐々木竹見元騎手の勝負服柄
- 歴代の佐々木竹見カップの優勝者名

【参考　2020年度実績　佐々木竹見勝負服マスク、歴代佐々木竹見優勝騎手入りオリジナルカード】

制作する際は、発注者と協議のうえで決定すること。

４　特記事項

実際の事業内容については企画書等の内容に基づき、発注者と選定事業者との協議により決定する。したがって、企画書等の内容が一部変更となる場合がある。